



都高 P 連会報

発行：東京都立高等学校 PTA 連合会（都高 P 連）
編集：都高 P 連

事務局：〒101-0048 東京都千代田区神田司町 2-7-6 鈴木ビル 3F
TEL：03-3294-0281 FAX：03-3294-0283

東京都への陳情の採択について

都高 P 連 会長 高橋多佳子

東京都公立高等学校 PTA 連合会は、子どもたちの教育環境改善につながる要望を単位 PTA の声として集約したものを教育行政に伝えていきます。一月から開催してきた全都会長の情報交換会の折に単位 PTA 会長から寄せられた要望のうち、六つの要望を、設備委員会が集約の上、平成二十一年八月十三日、東京都議会に陳情書の形で提出していただきました。

陳情の成果
2 から 5 につきまし

東京都公立高等学校 PTA 連合会は、十二月十六日都議会の第四回定例会最終日に「意見付添い採択」の結果を得ることができました。これは大きな前進であります。子どもたちの教育環境を整備するために教育行政に単位 PTA の声をつなげていくというものが我々の大きな責務であります。単位 PTA のみ単独、または数校では実現しえないこともあります。なかでも、「5. 都立高等学校のスクールカウンセラー配置に関する陳情（陳情二十一第二十一号）」につきましては、生徒のみならず、

保護者、教職員が相談を受けられるようにとの願いを盛り込んだもので、校長先生方からも大きな評価をいただいております。予算化され、学校現場での実現をみるまでは保護者が続いて、必要に応じて声を上げていくことが次のステップです。1 と 6 につきましては、陳情文書の文言の

再考を経て、捲土重来を期して次年度以降に要望していきたいと考え、陳情の取り下げをいたしました。これからの環境整備をよりよい環境整備に心を砕いてまいりましょう。いうまでもなく地区でのきめこまやかな情報交換がベースになつておられます。活発な意見交換をどうかよろしくお願い致します。

6つの陳情項目

1. 都立高等学校の空調設備に関する陳情
2. 都立高等学校におけるCO₂削減に関する陳情
3. 都立高等学校の校庭緑地化に関する陳情
4. 都立高等学校の学校設備・備品に関する予算の確保と適切な実施に関する陳情
5. 都立高等学校のスクールカウンセラー配置に関する陳情
6. 都立高等学校の駐輪場及び雨具置場の整備に関する陳情

請願・陳情の要旨

審査結果	意見付採択
備考	(意見)趣旨にそうよう努力されたい。

件名	都立高等学校の校庭緑地化に関する陳情
番号 付託委員会	21第 19号 文教 委員会付託

(願 意)
都立高等学校において、地球温暖化対策の一環として、校庭の芝生化やグリーンカーテンの設置等を実施していただきたい。

(理 由)
校庭の芝生化やグリーンカーテンの設置等の環境整備対策は、結果として校内の気温上昇を抑える効果も期待でき、さらに、熱中症予防にもつながる。早急な実施を要望する。

請願・陳情の要旨

審査結果	意見付採択
備考	(意見)趣旨にそうよう努力されたい。

件名	都立高等学校におけるCO ₂ 削減に関する陳情
番号 付託委員会	21第 18号 文教 委員会付託

(願 意)
都立高等学校において、環境整備の一環として、校舎の屋上緑地化の実施又は太陽光発電設備の導入を実施していただきたい。

(理 由)
校舎の屋上緑地化の結果として、CO₂削減効果とともに、夏場の校舎内の気温上昇を抑え、空調等の効果も大きくなる期待できる。太陽光発電設備の導入も、子どもたちが環境問題を自分のこととしてとらえるよい機会となり、学校運営費用の削減に直接つながることと考える。早急な対応を要望する。

請願・陳情の要旨

審査結果	意見付採択
備考	(意見)趣旨にそうよう努力されたい。

件名	都立高等学校のスクールカウンセラー配置に関する陳情
番号 付託委員会	21第 21号 文教 委員会付託

(願 意)
都立高等学校におけるスクールカウンセラーを全校に配置していただきたい。

(理 由)
スクールカウンセラーは、平成15年度から東京都の公立中学校に配置され、小学校においても平成17年度から巡回型配置が実施された。都立高等学校にも、中途退学者対策として現在60校に配置されている。成果は大きく出ており、退学者が減少している。しかし、カウンセラーの役割は、退学者対策だけではない。実際の現場では、子どもたちのメンタルケアにとどまらず、社会性の乏しい親・保護者に振り回される教職員の相談にも乗り、我が子とのコミュニケーションが取れず悩む親たちに様々な情報を発信するという役割も果たしている。カウンセラーの存在が学校に安心をもたらしているといっても過言ではない。実際、配置されている学校の教職員・保護者からの信頼も厚く、頼りにされている。

このような効果が期待されるスクールカウンセラーを全校に早急に配置することを要望する。

請願・陳情の要旨

審査結果	意見付採択
備考	(意見)趣旨にそうよう努力されたい。

件名	都立高等学校の学校設備・備品に関する予算の確保と適切な実施に関する陳情
番号 付託委員会	21第 20号 文教 委員会付託

(願 意)
都立高等学校の設備・備品に関する予算において、パソコン関連など最新の教育機器が求められる分野については、必要な予算の確保と、リースや買取り等も含めた適正かつ最良の予算執行をしていただきたい。

(理 由)
都立高等学校の設備・備品に関しては、必要な予算措置がなされておらず、適正な更新等が実施されていない。同じ都立高等学校であるにもかかわらず、大きく差がつき、見過ごせない程の状況である。

特に、パソコンやそのソフトのように変化の速い設備機器については、目を覆う状態の学校も見られる。例えば、いまだにWindows98を使用しているところと、ノート型パソコンにWindows Vistaが標準装備されている学校が存在するというのが現実である。導入時期によって差が出るのは仕方ないが、適正な更新をする必要があると考える。情報教育の重要性が叫ばれている一方でこのような状況があることは、特に実業系の学校で学ぶ子どもたちにとって致命的と言え、結果的に無駄な時間を費やすこととなる。

～ 目次 ～

- ① 東京都への陳情の採択について
- ② 平成 21 年度東京都教育委員会委託事業
- ③ 平成 21 年度社団法人全国高等学校 P T A 連合会委託事業シンポジウム
第 60 回全国高等学校 P T A 連合会大会東京大会 実行委員会の経過報告
- ④ 単 P ・地区の活動報告

平成21年度東京都教育委員会委託事業 東京都幼小中高PTAリーダー合同研修会

テーマ 子どものために 家庭のために 地域のために
日時 平成21年11月28日(土) 13時30分～16時30分
場所 港区御成門中学校体育館

【第一部】

幼稚園・小学校・中学校・高校の各校種の保護者代表によるパネルディスカッションが行われ、各家庭の子育て体験を通して、子どもの叱り方、反抗期の対応、コミュニケーションの取り方等の意見交換がされました。各家庭の環境や状況は異なりますが、参考になる貴重な意見が聞けました。

【第二部】

講師の廣中邦充氏は、「平成の駆け込み寺」として家出・不登校・ひきこもり・いじめ・自傷行為などの問題を抱える思春期の子どもたちを無償で自宅に預かり、子どもたちの自立と社会復帰をさせる「熱血和尚」として活動を続ける浄土宗西居院第二十一代目住職であり、教育評論家でもあります。

現在は、約十名の若者達と共同生活をし、「初めから荒れた子どもなど一人もいない」という信念の下、実践的教育論で講演活動がされています。

また、各方面から注目が集まり、メディアではTBS、NHK等多数出演されています。

「全員席をお立ち下さい」という号令から始まり、全員が左右の方の肩もみを行った後、講演に入りました。講演では壇上だけでなく、常に客席を回り、参加者一人ひとりに視線を合わせ、語りかける口調で、そのパワー

には圧倒されつばなしでした。寺で預かっていられる子どもたちの事例や、接した方の話としては、重い事例に保護者として考えさせられる内容で、改めて夫婦円満でないと、子どもの心を与える影響の大きさを痛感させられました。

また、ご自身が小学校・中学・高校とPTA活動に関わった経験より、「PTA活動は継承だけでなく創意工夫をし、普段学校に見えない保護者をいかに学校に足を運ばせるか、活動に巻き込んでいくか、が課題です。」との言葉で締めくくられました。

講師プロフィール

廣中邦充氏 (やんちゃ和尚)

浄土宗西居院第二十一代目住職 教育評論家
一九五〇年愛知県岡崎氏生まれ、大正大学卒業後、一九九〇年に父の後を継ぎ住職となる。子どもたちの心の叫びに真正面から向き合い、数々の子どもを救う。住職が語る実践的教育論に各方面から注目が集まり、TVや雑誌でもその取り組みが紹介されている。



やんちゃ和尚の「渴」



やんちゃ和尚の講演



熱く語る芝田副会長

細かいところでもほめられたい。

保険をもっと便利にもっと身近に、もしもの時にお客さまを守る個人用自動車総合保険「TONE-Step」やインターネットによる契約と行き先別にリスクを細分した新・海外旅行保険「Off! (オフ)」など。あつらいいな、をカタチにする柔軟な発想ときめ細やかなサービス。21世紀、日本の新しいライフスタイルに合った高品質の安心を力強く、ご提供します。

株式会社 損害保険ジャパン

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL. 03 (3349) 3111
ホームページアドレス <http://www.sompo-japan.co.jp>
[SJ05-12524 (2006.3.1)]



安心・安全をひろげたい。
マングローブ植林は、
地球の未来にかけた保険です。

私たち東京海上日動は、1999年度からNGO「マングローブ植林行動計画」と「財団法人オイスカ」をパートナーに、マングローブ植林を始めました。ひろく地球全体を「安心・安全」でつみこむために、当社はこれからもマングローブ植林をつづけていきます。

東京海上日動火災保険株式会社 東京都千代田区丸の内1-2-1 〒100-8050
TEL.03-3212-6211 (代表) <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

東京海上日動

森が戻ってきた。
鳥や虫や動物が戻ってきた。
みんなに笑顔が、戻ってきた。



再生プロジェクトを行っているバリヤン地区の小学校の児童から送られた絵。「わたしたちを守って」という動物たちのメッセージをこめて、描いてくれました。

インドネシア熱帯林の再生プロジェクト

きっかけは、私たちが毎日使っている紙の原料となる木材を少しでも地球に返したいという思い。たくさん生き物が暮らす森を守ること。地球温暖化を防ぎ、生物多様性を守ること。そして、地元の人々の生活を助けること。地元の子どもの明るい笑顔を力にして私たちが これからも、未来を育む活動をつづけていきます。



三井住友海上グループ
MSIG
三井住友海上火災保険株式会社 www.ms-ins.com

AIUの高校生総合保障制度 (こども総合保険)

私共AIUは、日本で営業を開始して早や63年が経ちました。学校・PTAを通じた保障制度にも25年以上のあいだ積極的に取り組み、おかげさまで全国25,000校以上の学校・PTAにて学生総合保障制度をご採用いただいております。



社会貢献事業「高校生国際交流プログラム」

〒105-0004 東京都港区新橋5-11-3 総務部 5F

平成21年度（社）全国高等学校PTA連合会委託シンポジウム 「子どもを取り巻く人間関係の回復と社会環境の充実」

日時 平成21年12月12日（土） 13時30分～16時40分
場所 府中グリーンプラザ ケヤキホール

【趣旨】

近年、豊かになった社会とは対照的に子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、メディアやITからの有害情報が氾濫する一方で、家庭教育・学校教育力の低下、地域社会におけるコミュニケーション能力の低下等も叫ばれています。今こそ、新しい視点で子どもを育む場を作っていくことが必要だと思えます。

ここでは、子どもに「共感的な関係性や自己肯定感」を築かせるために、どうすればいいのかを探ってみると共に、このシンポジウムが今後の取り組みの役に立てることを期待します。

【本題】

「子どもを取り巻く人間関係の回復と社会環境」というメインテーマで子育てシンポジウムが開催されました。

基調講演は、長年にわたり高校生の現状についての研究の第一人者である京都大学大学院医学研究科准教授の木原雅子先生をお招きして「やる気ない、目

標ない、授業わからない3ない高校生の現状」というテーマで講演していただきました。

全国の高校生へのアンケート結果をもとに、現在の高校生の問題点を鋭く指摘されており、中でも印象に残ったのは、家庭での学習時間の平均が男子1.6時間女子1.7時間と非常に少なく、高校一年生で授業についていけなくなる生徒が30%以上いるということでした。

また、「携帯電話の使用時間」や「生活自立度」と「勉強がわからない」とは相関関係があり、携帯の使用時間が長くまた生活自立度が低い生徒は勉強もわからないという結果が出ていたということでした。

自己肯定感を身につけ、人生の目標があり意欲をもって取り組んでいるものがある生徒ほど勉強もできるという結果となりました。そのためには保護者との信頼関係を構築することが最も大切であるというお話でした。

そのあと、引き続き木原先生をコーディネーターとして幼稚園、

小学校、中学校、高校関係者や現役保護者のシンポジストを交えて「子どもたちのやる気を引き出すにはどうしたらよいのか？」というテーマでそれぞれの立場から経験をもとにお話していただきました。

家庭教育・学校教育力の低下、地域社会におけるコミュニケーション能力の低下が叫ばれている中、家庭・学校・地域が一体となり本当の意味での子どもを育む場を作っていくことの重要性を改めて認識させられ大変盛況のうちに閉会いたしました。



木原雅子先生

木原雅子先生は、第十回全国高等学校PTA連合会大会東京大会にて、記念講演を予定しています。

第60回全国高等学校PTA連合会大会東京大会 実行委員会の経過報告



- 08月27日 臨時実行委員会
分科会会議の報告 等
- 09月05日 実行委員会
沖縄大会視察報告、各地区進捗報告
- 09月16日 実行委員会
大会概要書について
今後の日程
アトラクション部の創設
- 10月08日 実行委員会
全国P連研修委員会報告
アトラクション、ポスター作成状況
- 10月22日 実行委員会
アトラクション、予算について
実行委員と協力員について
- 10月23日 第60回全国大会東京大会決起大会（右写真）
- 11月12日 運営委員会（実行委員会より名称変更）
分科会会場、企画部会について
各地区進捗報告
- 12月03日 運営委員会
各部進捗状況報告、各地区報告
分科会会場と担当地区決め（右参照）
- 12月06日 スポンサーシッププログラム
大学・専門学校宛名書き
- 12月16日 企画部会
- 12月29日 企画部会

分科会会場と担当地区

日本武道館	第1分科会	（西部北地区）
日本青年館	第2分科会	（中部北地区）
東京大学安田講堂	第3分科会	（東部北地区）
日比谷公会堂	第4分科会	（中部南地区）
九段会館	特別第1分科会	（西部南地区）
早稲田大学大隈講堂	特別第2分科会	（東部南地区）
昭和女子大学人見記念講堂	特別第3分科会	（都高P連）

高橋会長の挨拶



第六十回全国高P連大会
東京大会決起大会



参加者全員で
「ガンバロー」を連呼



平成21年度 単P・地区の活動報告

中部南地区 親睦会

実施日 平成21年11月1日(日) 10:30~15:00
内容 多摩川バーベキュー
場所 新東京百景にも選ばれている、西河原公園多摩川河川敷(通称五本松)
参加対象者 平成20年度・21年度の本部役員、校長・副校長先生
概略 炭火の焼肉、焼きそば、すいとん、白玉あんみつを食べてお腹も心も満たし、多摩川の自然の中で情報交換をしました。

高島高校 教養講座(講演会・情報交換会)

実施日 平成21年11月18日(水) 15:30~
テーマ 教育実践を通して見た教育観について
「文武両道を目指すための本校生のこれからのあるべき姿について」
講師 鈴木一弘先生(主幹教諭)
場所 都立高島高校 大会議室
参加対象者 保護者・教員・地域の方

駒場高校 講演会

実施日 平成21年10月17日(土) 15:00~
テーマ 「我が子が幸せになる為の助言」
講師 ピーター・フランクル氏
場所 都立駒場高校 生徒ホール
参加対象者 保護者・生徒・教員
ねらい 駒場高校の保護者・教員は常日頃生徒達の最強の応援団として自負しており、我が子の幸せを願ってやみません。その期待に応えるべく、世界90カ国以上、日本各地も周られた経験豊富な方からの我が子、そして保護者自身が人生を豊かに過ごすための助言を得るために企画。

アンケート実施 参加130名中53名回収
・ 大変参考になった・・・45名
・ 多少は参考になった・・・7名
・ まあまあだった・・・1名

中部南地区 昼食会&講演会

実施日 平成21年5月23日(土) 12:00~14:00/14:00~16:00
テーマ 「受験生と親との関わり」
講師 染谷忠彦氏(女子栄養大学 理事・評議員)
場所 都立駒場高校 食堂・第一会議室
参加対象者 PTA役員・学校長
概略 都立高校唯一のPTAが経営する駒場高校の食堂で昼食を頂き、その後講演会。

中部南地区 講演会

実施日 平成21年11月21日(土) 13:30~16:00
テーマ 「子離れ 親離れー真の自立に向けてのコミュニケーションとは?」
講師 太田喜子氏(家庭教育LABウィズ代表)
場所 都立園芸高校
参加対象者 学校長・副校長・PTA会長、役員または会員
概略 小学校のPTA会長を経て子育て中のお母さんたちのコミュニケーションの場として調布、狛江、三鷹、八王子を中心に「ようこそ子育てしながらホットできるお母さんの居場所へ」を開催している。
相談室では、不登校・学級崩壊・いじめ等の相談を受け心の問題に取り組んでいる。

※次号にて詳しい内容を載せる予定です。

中部北地区 第1回情報交換会

実施日 平成21年10月17日(土)
テーマ 第1回中部北地区情報交換会
場所 都立田柄高校
参加人数 129名(田柄高校除く)
概略 会長&副会長、会計、書記、各委員会ごとに分かれて、PTAが抱える問題点等について意見交換をした。



会長・副会長の意見交換の様子

※次号にて詳しい内容を載せる予定です。